人間文化学部

人間関係学科

Department of **HUMAN RELATIONS STUDIES**

人間関係の発達とコミュニケーションを科学し、新しい社会と地域に活きる市民的教養を共創します。

自分自身を俯瞰できるようになったことで人の支えになれると確信を持てました。

思春期の頃、引きこもりやうつに悩む方の存在を身近に感じた経験から、社会と人との関係に興味を持つようになり、そこから問題が生まれる仕組みを学べる大学を探しました。オープンキャンパスに訪れて模擬授業を受け、学校の雰囲気を確かめたことで志望校として定めたのが滋賀県立大学です。学科での勉強を通して、人との関係や自分自身を俯瞰できるようになったり、人の行動や感情の源泉に想いを馳せたりするようになりました。偏見を持たずに人と向き合えるようになったことが一番の財産です。研究テーマは、若者のキャリア支援について取り上げました。進路決定における若者の心理的特性の先行研究などを踏まえて、どのように援助すればよいかを考えています。入学前はどんな仕事に生かせるかイメージしきれない学科でしたが、人が関わる様々な場面に生かせると感じました。人と人との間に起こるいろんな問題を捉えなおし、相手の背中を押してあげられる存在になりたいです。また、若者を含む市民の皆さんが誇りを持てるような地域づくりに携わりたいと考えています。

人間文化学部　**人間関係学科4回生**
坂井　勇太さん／私立北陸高等学校出身

◆アドミッションポリシー

人間関係学科では、人間関係を生涯にわたって発達・変化していくものとして柔軟に捉え、自身と共同体との関わりについて考え続けるための総合的教育を行っています。入学後には、人間関係への興味・関心を持ち、さまざまな環境における人間どうしのあり方を記述し、実践的にとらえ直すことが中心課題となります。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

求める学生像

①さまざまな共同体で生じる問題に取り組むための基礎学力を有する人（知識・理解）
②自他の体験を客観的に記述し、とらえ直す力を有する人（思考力・構成力）
③さまざまな発達段階・環境における人と人との関わりに関心を持ち、自ら学ぶ強い意欲を有する人（関心・意欲）
④自分の考えや意見を表現し、相手に伝えるための基礎的な能力を有する人（読解力・表現力）

◆学びのポイント

キーワードは「発達」と「コミュニケーション」

時間とともに変化する人間関係が「発達」です。この学科では、その変化を、さまざまな角度、様々なスケールから捉えなおすことを学びます。どのように切り取るかによって、「発達」はさまざまな形をとるからです。

人と人が出会ってから別れるまでのほんの数分の間にも、お互いの態度や行動は刻々と変わっていきます。人の一生という単位で見れば、乳幼児から成長し、大人になるにつれて、自分と自分を育ててくれる人との関係は劇的に変化していくはずです。さらに何世代にもわたって伝承される文化は、時代に合わせてさまざまな形をとるでしょう。重要なのは、さまざまな角度からの「まなざし」を得ることで、普段見えていなかった人間や社会のあり方を認識することができるようになることです。本学科では、心理学・教育学・社会学という３つの専門的なアプローチを通して、こうした複雑で深遠な人間関係を緻密に読み解きながら、今とは別にありうる人間や社会の可能性を考えていきます。

Point 1　多角的なアプローチの習得

心理学・教育学・社会学を専門とする多彩な個性の教員とともに多角的なアプローチで人間関係の深遠に迫ります。

Point 2　実践的なスキルの体得

豊富に用意された調査実習・実験実習を通して、柔軟な思考と実践的なスキルの獲得を目指します。

Point 3　オリジナルなテーマの追求

少人数でのインタラクティブな講義・演習が多く、きめ細やかな指導のもとで、自分だけの研究テーマを深めることができます。

◆学びのステップ〈4年間の学習フロー〉

1年次　2年次　3年次　4年次

前期　後期　前期　後期　前期　後期　前期　後期

専門科目40-50科目　卒業単位130単位

基礎的な実習・演習

1回生では、少人数での調査実習・基礎演習を通して、本の探し方やレポートの書き方から、調査テクニックまで、大学生として必要とされる基本的なスキルを確実に身につけます。

専門的な演習

2回生からは、講義や演習でも、専門的な内容が多くなってきます。それらの講義を通し、幅広い教養を身につけながら、自分の興味関心を少しずつ絞り込んでいきます。

ゼミ活動

3回生ではいよいよゼミナールが始まります。それぞれの研究のテーマを持ったゼミごとに、共同調査や文献の輪読会などを行います。ゼミでの活発な議論を通じて、専門的な研究力量を養っていきます。

卒業論文

4回生は、大学生活の総決算の時期です。個々人が決めた研究テーマに沿って、調査・実験・分析していきます。また、それらをまとめ、わかりやすくプレゼンテーションする技法も習得します。教員からの丁寧な指導を受けながら、卒業論文を完成させます。

演習・実習科目の例

人間探求学	形成論演習	人間関係論演習Ⅰ	人間関係論演習Ⅱ・Ⅲ
環琵琶湖文化論実習	行動論演習		4月 卒業論文構想発表会
人間関係論基礎演習	社会学演習		10月 卒業論文中間発表会
心理・発達・行動学実験演習など	量的データ解析論Ⅰ		2月 卒業論文最終発表会
	カウンセリング論		
	教育観察実習など		

人間関係学科
ってこんなところ

人間関係学科では、心理学、社会学、教育学を専門とする教員が、「発達」と「コミュニケーション」というキーワードのもとでまとまって教育と研究にあたっています。ひとつの専門性に閉じこもらず幅広く学ぶことで、現代社会の複雑な人間関係の様々な側面を理解できるようになります。少人数教育の良さを生かして、実験や実習、演習で学ぶ機会も豊富に用意しています。

人間文化学部
人間関係学科
丸山 真央 教授

授業 PICK UP

形成論演習
発表内容についてグループに分かれてディスカッションをしています。

〈専門科目の例〉 講義

社会心理学
人は社会をどのように認識し、自己を位置づけ、他者や世界と関わっているのでしょうか。私たちの行動や物事の考え方が、他者の存在や他者との関係性によって、どのように影響を受けているのかを考えていきます。

現代社会福祉論
福祉には障がい、高齢、児童、貧困など様々な分野があります。それらの現場、制度、考え方などについて学びます。福祉から見ることによって、現代社会についても自分についても発見があると思います。

人間形成論A
貧困や格差、環境破壊など、現代社会には世界中の人々の協力なしには解決できない問題がたくさんあります。では、こうした問題を解決し、住みやすい社会づくりに参加できる人を育てるためには、どのような場で、どのような教育活動を行うことが必要なのでしょうか？この講義では、こうした視点から「教育」という人間形成の営みを見つめ直します。

比較認知発達論
ヒトに特有な言語や複雑な社会的知性はどのような進化的基盤を有するのか、現生の霊長類の認知や行動の発達を比較することで、ヒトの心の霊長類的起源と種独自性が明らかになります。本講では、この領域の最新の研究成果を学びます。

国際社会論
ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動する時代を本格的に迎えて、これまで自明視されてきた国民国家スケールを中心とする社会のありようは抜本的に変化を迫られています。映像や音楽も資料として活用しながら、グローバル化をめぐる社会諸科学の最新成果を学びます。

教育観察実習
「教育」と一口に言っても多様な場所で、多様な方法で、多様な実践が展開されています。この実習では特徴的な実践を展開している教育現場を訪れ、実践の様子や実践者の考えに触れ、議論を行うことを通して、教育の可能性や今後のあり方についての考えを深めていきます。

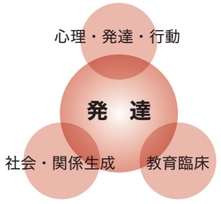
◆3つの視点

本学科では、「発達」に対する3つの視点を用意しています。もちろん、どの講義や演習・実習も分野を超えて履修することができます。研究の世界の第一線で活躍する教員による、少人数の丁寧で細やかな指導を通じて、個々の研究テーマを定め、それを深めていきます。

心理・発達・行動分野
わたしたちのこころを支えている生物学的・心理学的な基盤とそのはたらきについて学ぶ分野です。「心理学基礎」などで基礎を確実に習得することはもちろん、「臨床心理学」「発達心理学」「社会心理学」「現場心理学」「比較認知発達論」など多角的な学びを深めるためのカリキュラムが用意されています。講義内容には、教員が直接関わる最先端の研究で得られた知見がふんだんに盛り込まれており、刺激的です。もちろん、観察実習、映像機器やコンピュータを用いた実験分析など、自ら被験者や実験者や観察者になる実習体験も豊富です。
（松嶋 秀明教授、上野 有理教授、後藤 崇志講師）

社会・関係生成分野
人間関係の生じる社会的場面に焦点を当てる分野です。社会学の基本的な考え方を得ると同時に、身近な現象から考える「社会問題の社会学」から、社会全体のしくみと変化を捉える「国際社会論」「社会変動論」まで、あるいは現代の地域社会への視点を学ぶ「地域社会論」から歴史的視点までおさめた「社会学史」まで、さまざまな時空間スケールの視点を学びます。社会調査法やデータ解析に関する実習も充実しており、実践的なスキルを獲得することもできます。
（丸山 真央教授、大野 光明准教授、中村 好孝講師）

教育臨床分野
教育とは、じつはもっとも複雑な人間関係が現れる現場でもあります。「教育方法論」をはじめ、教育の問題と深くかかわる「発達支援論」、学校や家庭、地域などにおける多様な人間関係の中で展開されている教育活動の可能性や課題、課題解決に向けた方策などについて議論する「形成論演習」など、教育を手がかりに多様な人間関係のあり方をさぐっていくカリキュラムが用意されています。もちろん、教職課程に必要な単位もすべて取得できます。
（木村 裕准教授、杉浦 由香里准教授、原 未来准教授）



1日のスケジュール

- 8:30　通学
- 9:00　1限：人間探求学
- 10:40　2限：地域共生論
- 12:10　昼休み
- 13:10　3限：比較住居論
- 14:50　4限：心理・発達・行動学実験演習
- 16:30　5限：　〃
- 18:00　サークル活動

少人数グループでディスカッション。

地域がもつ課題と魅力について学びます。

人間行動の基本原理を体験的に学びます。

サークル活動で汗を流します。

卒業論文発表会
4年間の集大成。少し緊張しながらも堂々と卒業研究の成果を発表しています。

心理・発達・行動学実験演習
アイマスクをつけて歩く実習。マスクをつけた人だけでなくナヴィゲートする人にとっても、感覚を捉え直す体験をします。

人間関係論演習Ⅱ
温かくも厳しい議論を通じて、卒業論文の完成をめざします。

カウンセリング論
仮想相談事例をもとに支援方法についてのディスカッション。カウンセリングの基礎を体験的に学びます。

量的データ解析論Ⅰ
表計算ソフトや統計パッケージソフトを駆使して、質問紙調査のデータを分析します。

心理・発達・行動学実験演習

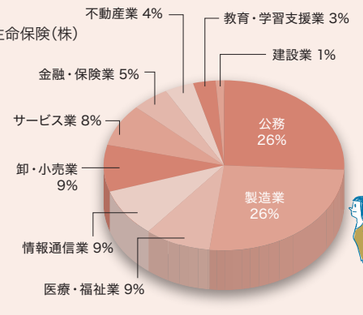
行動論演習
鏡を使っていつもとは違う見え方の世界を実感。身近な生活や人々の関わりを題材に、心理学のさまざまな研究方法を学びます。

◆進路状況抜粋（2016～2018年度卒業生）

◆就職先
綾羽(株)
大津市民病院
(株)関西アーバン銀行
(社福)嬉泉　子どもの生活研究所
(株)近鉄・都ホテルズ
(株)くらコーポレーション
コイズミ照明(株)
(株)滋賀銀行
滋賀中央信用金庫
(株)長栄
東洋紡(株)
名古屋鉄道(株)
日本年金機構
日本郵便(株)
ピー・アンド・ジー(株)
福田金属箔粉工業(株)
社会福祉法人フジの会
(株)平和堂
(株)マイナビ
三井住友海上あいおい生命保険(株)
(株)ミルボン
(株)村田製作所
(株)ヨドバシカメラ
JA甲賀
JA東びわこ
宇治市
近江八幡市
大垣市
京都市
京都府
久御山町
滋賀県
滋賀県警察
高島市
長浜市
名古屋国税局
栗東市

◆進学先
九州大学大学院
京都大学大学院
鳥取大学大学院
名古屋市立大学大学院
鳴門教育大学大学院
龍谷大学大学院

2016～2018年度卒業生の業種別就職状況



取得可能な資格一覧※
- 教員免許：中学校教諭一種（社会）
  高等学校教諭一種（公民）
- 学芸員資格
- 社会調査士資格
- 社会福祉主事任用資格

OB & OG Message

2015年度卒業
勤務先：カゴメ株式会社
岡　浅里砂さん

自然の恵みを活かして、人々の健康寿命の延伸や農業振興、地方創生、そして世界の食糧問題に取り組んでいるのがカゴメ株式会社です。私はこの会社で、営業補佐と経理を担当する傍ら、「滋賀県プロジェクト」に所属し、滋賀を愛するメンバーとともに県民の健康に貢献すべく活動を行っています。
大学では、少人数の演習講義をはじめ、テーマを多角的に捉え、議論し、報告する機会が多くありました。ここで身につけたのが「くみ取る力」と「伝える力」です。お客様の要望を伺い、簡潔明瞭に提案・報告するという日々の業務に役立っています。県大ならではの「近江楽座」では、商店街の活性化を目指して学生喫茶を出店しました。企画から運営まで学生だけで取り組むという経験を通じ、自ら考え、やり抜く力が身についたと感じています。この活動で芽生えた「食のパワーで人々を健康に、幸せにしたい」という思いは、今の会社を志望するきっかけにもなりました。今後も学び続け、100の依頼に真心をプラスして120で返せるような、あたたかい働き方で輝く人になりたいと考えています。
（2019年1月現在）

※ すべての資格は、大学が定める所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。